

「第4次鳴門市男女行動計画素案」  
 についての意見募集に対する結果公表

1 募集結果

募集期間	令和7年12月26日（金）から令和8年2月2日（月）
意見等提出者数	1人
提出件数 (提出方法内訳)	4件 (直接持参0通、郵便0通、FAX0通、Eメール1通、その他0通)
意見等の反映状況	A 意見等を計画等に反映するもの・・・・・・・・・・ 0件
	B 意見等が既に反映されているもの・・・・・・・・・・ 0件
	C 意見等を今後の参考とするもの・・・・・・・・・・ 4件
	D 意見等を反映する見込みのないもの・・・・・・・・・・ 0件

2 意見等の分類

項 目	件 数
(1) 計画全体に関する意見等	4件

3 意見等と市の考え方

(1) 計画全体「基本理念」に関する意見等と市の考え

No	意見等の概要	市の考え	反映
1	男女が平等かつ働きやすい環境を整備することが喫緊の課題であるが、男女の特性を考えて社会の役割を分担するという認識が真の男女共同参画社会なのではないか。	本市では、男女の特性を個人の個性として尊重し、従来の性別による役割分担にとらわれず、双方が主体的に働き、活動し、協力して責任を果たすことができる社会を目指すため、あらゆる世代に向けて意識啓発や支援に努めることを計画に位置付けており、引き続き取組を進めてまいります。	C
2	子育てに向いている性別について、子どもなどにアンケートの実施を希望する。	この度、本市で実施した中学生アンケート調査では、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである(男は仕事、女は家庭(家事・育児など)」という考え方に対する回答は得ています。	C

		この考え方については、「どちらかといえば反対」「反対」と回答した中学生の割合は77%であり、固定的な性的役割分担意識の解消が、一定程度浸透しているものと認識しており、同様の調査については、次期計画策定時においても実施したいと考えております。	
3	労働者への支援があるように、主婦（主夫）への支援拡充の在り方を考えるべきではないか。	多様な働き方や暮らし方の実現が求められている社会的背景において、家事、育児、介護の役割を家族で分担し合う意識を啓発するとともに、男性の家事、育児等への参画促進や子育てや介護サービスの充実など、社会全体でワーク・ライフ・バランスの実現を目指すことを計画に位置付けており、引き続き支援の在り方については検討してまいります。	C
4	大学に行かなくても安定収入の得られる仕事が地域社会の安定と少子化対策になるのではないか。職業選択の教育や金融教育を関係機関と連携して勧めてみてはどうか。	本市においては、「教育振興計画」に基づき、「学びに向かう力の育成とキャリア教育の推進」に取り組んでおり、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる「生き方を描く力」を身につけていくことができるよう、教育活動全体を通じたキャリア教育を実践しています。また、小・中学生を対象とした職業体験イベントなど、地元企業と連携し、子ども達が自らの将来像や勤労観・職業観を深めるとともに、市内企業への関心を高める機会の創出にも努めており、引き続き様々な機会の提供に取り組んでまいります。	C

※「反映」

A…意見等を計画等に反映するもの

C…意見等を今後の参考とするもの

B…意見等が既に反映されているもの

D…意見等を反映する見込みのないもの